

杉内 由佳（すぎうち ゆか）

略歴：立正大学 地球環境科学部 非常勤講師 / 外部研究員（地形・地質）。

千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師。

立正大学大学院修了後、埼玉県立 自然の博物館学芸員等を経て、2011年4月より埼玉県立 川の博物館学芸員（地学）を5年間務め、現職。「荒川流域の高低差まるわかりMAP」を企画・執筆。

「タモリ倶楽部」に出演。「ブラタモリ＃77・大宮」監修。測量士補。防災士。

2018年4月より、NHK FM さいたま「日刊！さいたま〜ず」に月1レギュラー生放送出演中。

私の専門のベースは「地学教育」であるが、「防災士」や「マップ・リーダー（地図専門指導者）」、「測量士補」の資格も活かしながら、対象者のニーズ合わせて新しい企画を立案し、これまで幅広く数多くのイベント講師や展示会を実施してきた。

■主担当した、主な企画展示（埼玉県立 川の博物館）

- ①（図書館巡回展）「もしもに備える ～自然災害に学ぶ～」
- ②「荒川の水のゆくえ ～埼玉の水と産業～」 （写真A）
- ③「地図からみえる世界」
- ④「ハザードマップ展」
- ⑤（特別展）「今だって氷河時代 ～埼玉からさぐる気候変動～」



写真 A-1：展示室の様子

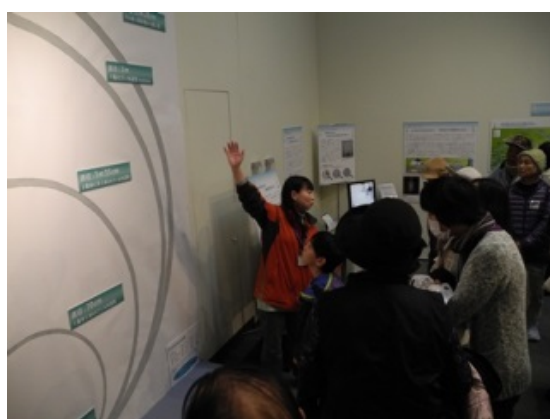
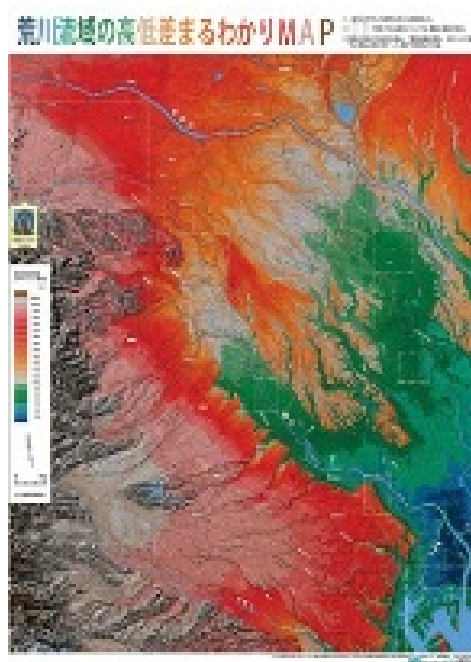
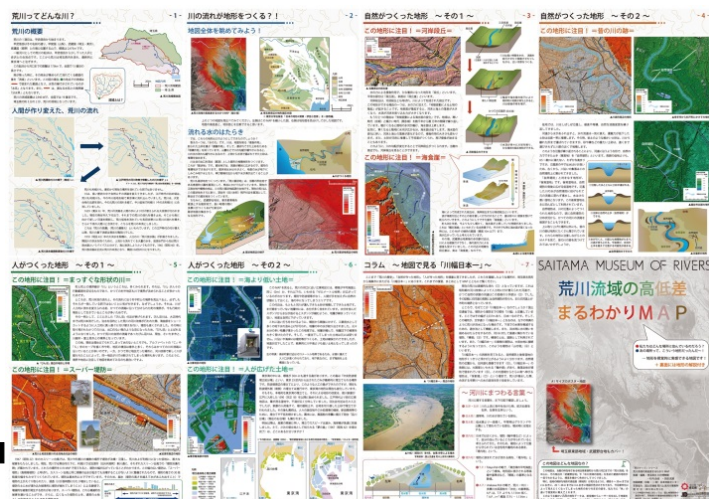


写真 A-2：展示解説の様子

■企画・製作した出版物（2015 年度）

「荒川流域の高低差 まるわかり MAP」

（下図解説面・右図地図面）



これまで、多数の講座・イベント・ワークショップ等（以下、イベントに統一）を行ってきたが、今後も実施可能なものについて一覧表にまとめた（最終頁参照）。

イベントの内容を大きく分けると、①地質系、②環境系、③天文・気象系、④地域ウォーキング、⑤防災系、⑥地図系のイベントとなる。相互に関連性のあるイベントは同じ色で囲み示した。

対象は、子供向け・親子向け・一般向けと様々であるが、毎回同じイベントではなく、ニーズや実施環境、参加対象者に合わせた柔軟なプログラムの改変・新規構築を行って対応している。

一覧表にあるイベントのうち、いくつかについてその実施の様子を紹介する。

①地質系（キーワード：岩石・化石・地層・地震・火山）



地層の作り方・調べ方・成り立ち・生い立ち：実物の化石や岩石を見たり触れたりしてもらいお話する。火山灰や岩石の中の鉱物は顕微鏡で観察する。



液状化ってなんだろう？：液状化の実験を通して、自然災害の本質について考えてもらうイベント。



河原の石の観察（屋外）：河原にある石をその場で拾い集めてもらい、仲間分けをする。「その場」感を大切にし、質問等には臨機応変に対応する。



河原の石の観察（室内）：実物大の河原の石シートと「実物の石」を手にしてもらいながら、お話する。



化石のクリーニング教室：

化石をクリーニングして終わりではない。写真は、参加者が見つけ出した化石と一緒に「同定」しているところ。ラベルを作り「標本」として持ち帰ってもらう。



化石のレプリカづくり：

レプリカは偽物という意識を払拭し、レプリカが博物館の資料として大事な側面があるということをお話している。写真は出張講座の様子。



火山のひみつ実験教室：実験を通して、火山のしくみを学ぶ。室内での実験が主だが、野外も利用できる場合はよりダイナミックな実験も行う。写真は、噴火の再現実験の様子。

②環境系（キーワード：自然・水・循環）



廃油を使ってキャンドル作り：単なる工作教室ではなく、普段の生活の中での行動が、河川や水域における自然環境の保全につながることを学ぶ。また、水循環等についても考える。

③天文・気象系（キーワード：星空・雲・天気）



空と雲の観察：空を実際に見ながら雲の種類や大気の動き、気象観測の方法等について学ぶ。室内では「雲を作ってみよう」という実験も行う。



星空観察会：「星座早見盤」の見方、「星座早見盤」を使った星の探し方を学ぶ。天体望遠鏡が無い場合は、肉眼で夜空の星を見て、天体や星座の名前を紹介しながらお話しする。

④地域ウォーキング（キーワード：微地形・高低差・フィールドワーク）



都市部：人間が変えた地形と、元々の地形とを見比べながらの街歩き。

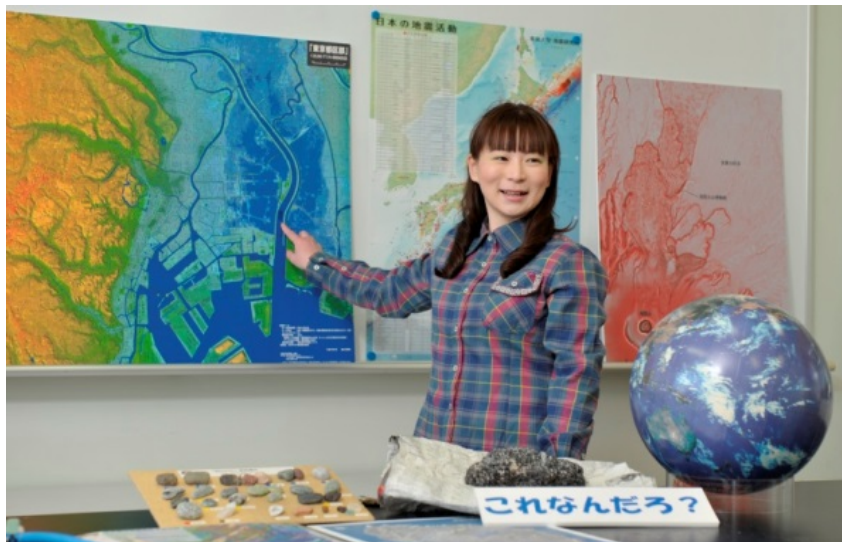


山間部：地層の観察を通して、土地の成り立ち・生い立ちについて考える。



防災：自然災害の痕跡や、自然災害を考える上で基礎となる「現地」をフィールドワークするイベント。

⑤防災系（キーワード：自然災害・ハザードマップ・防災グッズ）



ハザードマップの見方とその活用：風水害・地震・火山など、地域毎に異なる自然災害のリスクについて考える。



防災ワークショップ（一般向け）：「地図の読み方」と「地図の活用方法」を地図上での作業を通して学び（図上演習）、その地域がどのような地理的条件にあるのかを参加者自らに考えてもらい、参加者同士で議論する。私はその手助けをする役割を担う。



防災ワークショップ（親子向け）：防災士として、普段私がどのようなことを考えているのかをお伝えし、親子で楽しめる工作やクイズを通して、命の守り方を考える。

⑥地図系（キーワード：読図・作図・地形模型）



親子地図づくり教室：

「夏休みの宿題のヒントの一つとなれば」、との思いから実施。始めに、「地図とは何か」という簡単な講義を行ったのちに、参加者一人一人にテーマを決めてもらい、オリジナルの主題図を作成。最後は、作った地図をみんなの前で発表してもらい、いろいろな人の考え方を共有してもらった。夏休みの親子の思い出作りともなるよう、「修了証」を各個人の名前を書き入れてお渡しした。

■講師等実績（一部）

テレビ出演：・「タモリ倶楽部」（荒川の地形模型の回） 2015年11月27日（金）深夜放送

テレビ監修：・「ブラタモリ」（#77・大宮） 2017年7月1日放送

講演会講師：・久喜市文化財歴史講座 講師

「地形から考える 利根川の流路 いま・むかし」 2016年2月実施

・幸手市教育委員会 第14回幸手市史講座 講師（写真B）

「なぜある幸手の高低差 ～そもそも高低差なんてあるの？～」 2016年8月実施

・幸手市くらしの会 講師 「女性のための防災教室」 2017年4月実施

・森林インストラクター東京会 講師 「野外地学教育方法研修」 2017年5月実施

・奥多摩自然教室ボランティア研修会 講師

「野外地質研修+座学講座」 2017年9月実施

イベント講師：・吉川市立図書館 「地域防災のためのワークショップ」 2016年1月実施

・八潮市立八條公民館 「親子のための防災ワークショップ」 2016年2月実施

・新宿区立東戸山小学校 「防災キャンプ」 2016年7月実施

・幸手市中央公民館，西公民館，東公民館（3か所）

「ハザードマップの見方とその活用」 2016年12月実施



写真B 講演会の様子

ここへ記載したイベント等は一例です。
学校や、図書館、公民館など、主催者様のご要望に合わせて、一から新しいイベントを組み立てることも可能です。

ぜひ、お気軽にご相談頂ければ幸いです。

講師依頼連絡先：

yuka_sugiuchi (at) yahoo.co.jp

杉内由佳

◆地質系

- ・石の実物の図鑑(標本)を作ろう(野外or/and室内)
- ・石でオリジナルアクセサリーを作ろう(室内)
- ・石を使ったオブジェ等、各種工作教室(室内)

- ・河原の石の観察(野外or室内)
- ・地層の見学会(野外講座)
- ・化石採取、体験教室(野外or/and室内)

- ・化石のレプリカづくり(室内)
- ・化石のクリーニング体験(室内)
- ・コハクを磨いて、太古のムシに出会おう(室内)

- ・火山のひみつ、実験教室(室内)
- ・火山灰を観察してみよう(室内)

- ・液状化ってなんだろう(室内)
- ・日本列島の成り立ちと生い立ち(室内)
- ・地質のできかたと調べかた(室内)
- ・砂金採り体験教室(野外and室内)

◆環境系

- ・環境MAPをつくろう(野外and室内)
- ・廃油を使ってキャンドル作り(室内)
- ・利き水体験(室内)
- ・水はどこから来たの？どこへ行くの？(室内)

◆天文・気象系

- ・空と雲の観察しよう(野外)
- ・天気図を描いてみよう(室内)
- ・簡易プラネタリウムで星空散歩(室内)

- ・雲をつくってみよう(室内)

◆地域ウォーキング

(「ブラタモリ」みたいな地域を知るための野外講座：

地形や地質の成り立ち・生い立ち等、現地の自然を見て学びます)

- 都市部系：人間が造った地形や、元々ある微地形をさぐる旅
- 郊外系：自然を巧みに利用した先人の知恵や、地形の高低差を体感する旅
- 山間部系：地層や岩石の観察がメインのハイキング

→防災系：災害の痕跡や、防災設備を学ぶ旅

◆防災系 (防災士として)

- ・自然災害の本質を学ぶ(室内)
- ・親子で学ぶ、もしもの備え ～お話しand防災グッズ工作～(室内)

- ・ハザードマップ図上演習 ～マップの見方とその活用～(室内)
- ・防災MAPをつくろう(室内and/or野外)

- ・今の地図と昔の地図を比較して、まちの変遷を知ろう(室内)

- ・親子地図づくり教室(室内and屋外)
- ・地形模型を作ろう(室内)

◆地図系

(マップ・リーダー(地図専門指導者)資格所持者として)